

平成21年度第3回京都市男女共同参画審議会摘録

<日 時> 平成21年10月26日(月) 午後6時30分～8時30分

<場 所> 京都市男女共同参画センター「ウィングス京都」2階 セミナー室B

<出席者> 会長 西村 周三(京都大学理事・副学長)
副会長 西脇 悦子(京都市地域女性連合会会長)
副会長 安田 三江子(花園大学社会福祉学部准教授)
委員 江頭 節子(弁護士)
委員 岡本 哲也(日本労働組合総連合会京都府連合会副事務局長)
委員 表 真美(京都女子大学発達教育学部教授)
委員 小林 正治(㈱ワコール人材開発部長)
委員 沼井 哲男(市民公募委員)
委員 村山 千里(市民公募委員)

<敬称略>

<傍聴者> 2名

<議 題> (1) 第1回DV部会における検討内容について(報告)
(2) 第4次「きょうと男女共同参画推進プラン」に盛り込むべき事項について

<内 容>

(1) 第1回DV部会における検討内容について(報告)

江頭部会長から資料1にそって報告後、質疑応答、意見交換

○ DV相談支援センターでは職業訓練をするのか。

⇒ 基本的には、相談、情報提供機能を中心にして、京都府婦人相談所の一時保護機能と組み合わせる。就労のあっせん、紹介等を積極的にすることはない。(事務局)

○ 最近、デートDVはかなり多いのか。

⇒ 昔からあったが、最近顕在化してきたのではないと思われる。

○ 被害を受けた母親としては、子どもを会わせるのも嫌かと思うが、父親は会う権利があるのか。

⇒ 原則的には面接交渉権はある。ただし、子どもの福祉の観点から望ましくないという場合には例外的に制限される。DVがあまりにひどいとか、子どもにも虐待をしていたということになると、裁判所も会わせないことになる。

○ あまりにもひどい状況の場合だけか。

⇒ 子どもが幼くて物心つく前なら、そもそも覚えていない。妻にはDVをふるっても子どもには優しい父親もいるし、自分はDV被害を受けたが子どもを父親に会わせるのは構わないという母親もいる。子どもを会わせるのは良いが母親自身が父親と折衝するのが嫌で面会が実施できないというケースがあり、間に入ってくれる人が必要である。

○ DV防止法は配偶者間だけの暴力を対象としているが、対象とならない人たちを対象とした対

策も計画に掲載できないか。

⇒ DV防止法では恋人間の暴力に保護命令の制度を適用できない。しかし、相談は広く受け付けるべきである。表現が難しい。

⇒ DV防止法は配偶者からの暴力が対象であり、恋人間の暴力となると対応できない。相談や啓発はしていくべきであるが、DV相談支援センターは法律に基づいて設置することになるので、できることとできないことを明確にしておいたほうがよいという意見であった。(事務局)

○ 奥さんにはひどいことをするけど子どもにはやさしいといったケースも確かにあると思うが、子どもにもよくないケースというのめかなりの数に上ると思うので、配布資料では福祉事務所とのネットワークについては言及されているが、児童相談所との連携についても、計画に記載してほしい。

⇒ いただいた御意見は次回のDV部会で報告させていただく。(事務局)

○ 母子家庭の平均年収は150万円程度ということである。生活保護もあるが、なかなかそこから抜けられない。そこから自立するための経済面の支援、就労支援ないと最終的な自立はできない。

○ DV被害者でなくても、女性には経済的ハンデがある。

○ 京都府婦人相談所では85%が電話対応で、電話相談でかなり解決しているようだが、京都市は何を重視するのか。

また、被害者の個人情報、プライバシーはどの程度守られるのか。

⇒ 京都府婦人相談所ではDV以外も扱っている。DVと言っても幅があり、電話で受け付け、重症だと面接となる。京都市男女共同参画センター「ウィングス京都」でもDVの相談はあるが、深刻なDVの少し手前のカウンセリング的な要素が強いものである。

全て対応できればよいのだが、まずは、コアな、一刻一秒を争って避難場所を確保しないといけない、被害に遭われて精神的ダメージが大きく回復が困難であるようなケースを対象と考えている。実際、警察が発表している暴行事件の95%以上が配偶者間では夫から妻への暴力である。

個人情報については、記録は残す必要はあるが、重度の守秘義務が課されると考えている。DV相談支援センターの所在地についても明らかにほしくないことも含め検討しており、ウィングス京都の相談機能等と補完しあうよう考えたい。

今後、部会を2回開催し、DVに関する基本計画について審議会に報告することになる。(事務局)

(2) 第4次「きょうと男女共同参画推進プラン」に盛り込むべき事項について

事務局から資料2、3にそって説明後、質疑応答、意見交換

○ 京都らしいことをプランに入れた方がいいと思う。京都市らしいと言ったとき、学生の町という言葉が思い浮かぶ。私の周りでは、事業者登録制度のような取組は学生、特に女子学生にとっては非常に興味のある領域であり、学生へ企業の情報などをしっかり提供していくのは大切であると思う。

○ 京都らしさとも関係するが、祇園祭りの山鉦巡行に女性は参加できない。10年後、20年後を見据えて、慣習の見直しについて何か書けないか。

○ 徐々に変わってきてはいるが、女性が参加できないものはある。

○ 京都市の繁華街の一部では、風俗産業が広がっている。性の商品化の問題であり、男女が互いの性を大切にしよう基盤づくりといったことは重要である。

- 昔と変わらず、商品化された女性に対する関心を持っている男子学生は少なくはない。そういった場所があるから興味を持つのか、興味があるからそういった場所ができるのか。
- 女性は若くて美人でなければ価値がないという風潮があり、年をとると就職できない。相談の窓口はたくさんできているが、女性には家事や育児の負担がかかり、日曜や夜間のシフトにつくためには、高額な保育サービスを頼まないといけない。生活に疲れ、仕事を探せず、自立のきっかけをつかめないことが多い。緊急避難的には生活保護などもあるが、抜け出すことができない。抜け出せるシステムがあればよいのだが。
- 現状から抜け出す支援、サポートの必要性はよくわかる。そのうえで、行政がしないといけないこと、企業がしないといけないことをはっきりさせないといけない。一人ひとりが自立してくらす仕組みと年功序列型賃金体系に代表される昔からの仕組みとは合致していない。
不景気な現在、企業にもできることとできないことがある。
- 同じ仕事をしていても雇用形態によって賃金格差が生じており、それをどう解消するが重要である。
やめずに働くことが本人にとっても有利だし、会社にとっても財産になる。ワーク・ライフ・バランスにもなってくる。
ただ、市だけで解決できない。未来を見据えた研修が受けられるような制度を府市協調で作るというのとも考えられるが、根本は国の話である。就労問題は難しい。
- ⇒ プランを作るうえで、理念として掲げる部分と具体的な取組の部分がある。理念の部分は素直に盛り込めばよいが、取組の部分は財政的な事情もあるので、どこに重点を置くかを考えないといけない。残念ながら、理念と具体的な取組の間に若干のギャップは出ざるを得ない。(事務局)
- セクハラは増えている。
- ⇒ 認識はしている。男女雇用機会均等法に基づく相談の中でも、セクハラの割合は大きい。これまでから市内部では研修しているが、市民や関係団体にも周知したい。企業における取組の促進についても労働局と連携して取り組んでいきたい。男女共同参画推進宣言事業者登録制度は、子育てや共働きの支援といった就労支援だけでなく、女性が働きやすい環境づくりにもつながるので、この制度を広めていくことがセクハラ対策にもつながると考えている。(事務局)
- セクハラの対策については、引き続き取り組むのがよい。
- 安全衛生の関係だが、パワハラの問題、メンタルヘルスの問題も増えている。なにもかもプランに入れてしまうわけにはいかないが。
- 企業が女性に求める期待は男性と同じなので、パワハラも同じ度合いでかかることになる。
他都市に比べて進ちょくが悪い指標については、改善しないといけない。登用率は他都市に比べてどうか。京都市として一番を目指すといったような指標があるのか。
- ⇒ 他都市と単純に比較できるものとできないものがある。登用率については、まずは35%をクリアしたい。そして、いくつか特徴的な指標を設けたい。実感できる指標が設けられれば良い。(事務局)

事務局から資料3「重点分野」にそって説明後、質疑応答、意見交換

- ワーク・ライフ・バランスには色々な要素がかなり入ってくるので、いいのではないかな。
- ワーク・ライフ・バランスは範囲が広いので難しい。残業の問題と言えば、日本は世界レベルで見たら、残業時間の多い人の割合が圧倒的に大きい。
- 日本は世界的に見れば所得が多い人が多いのに、幸せを実感できる人が少ないという。
- 現行の法律を忠実に守るだけでも、大分ちがうのではないかな。
- ワーク・ライフ・バランスとDVはとても良い二本柱だと思う。ただ、前者は男女がともに理

解しあい共同で進めていくものだが、後者については、優位な男性と不利になりがちな女性という女性問題が集約されている。暴力がおきた場合、やはり女性の方が弱い。根強く残っている女性問題の解決という視点を入れてほしい。

＜その他＞事務局から報告

- ・ 「日本女性会議２０１０きょうと」及び「ウィングスフォーラム２００９」について
- ・ 審議会の改選について